



## 遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3  
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

# 県民意識調査も無視し、民主主義も破壊する花角知事の姿勢に抗議する 道理に反する再稼働「容認」は撤回せよ！

11月25日、1,200人を超える県民が県庁を包囲



**東電に「魂と良心」を売った知事。県民意識調査の結果を無視。**  
11月21日、花角知事は「安全対策や防災対策の『認知度が高まれば再稼働の条件は整っている』という割合が高くなる」という理由で、「再稼働を容認する」と記者会見しました。  
しかし、安全対策の認知度高いGの「整っている」は46.3%、「整っていない」は52.2%です。防災対策認知度高Gの「整っている」40.8%、「整っていない」58.1%です。認知度が高い

ほど「整っていない」の回答が過半数を超えているのです。知事は平気で嘘をついています。許せません。  
**地元紙の県会議員アンケートで「判断できない」や未回答の自民県議**  
11月に地元紙が53人の県議にアンケートを実施。①再稼働の条件は、現状で整っている13、整っていない17、②再稼働すべき17、すべきでない15、④東電の信頼はある12、ない17です。  
自民県議の5〜7人は「判断できない」、半数の15人が「未回答」です。実に自民の3分の2の県議は「態度保留」なのです。それが県議会で知事判断を尊重して、「再稼働を容認」するなど、許せません。  
**県民投票を実施せよ！**  
花角知事の論理を無視した無茶苦茶な「再稼働の容認」などもつてのほかです。「再稼働の判断」は、県民投票を実施して、県民の意思に従うべきです。

### 遠藤れい子の笑顔でファイト

吉良よし子参院議員は「東京に住むものとしても花

11月22日、遠藤れい子とみんなのつどいスタートフェスはマツケンサンバで開会、会場いっぱい（380人）の参加者は熱気に包まれました。  
映画監督の小林茂さんは「性暴力被害のドキュメンタリー映画『魂のきせき』を完成させた。知事の原発再稼働容認発言は許せない！」  
医師の羽賀正人さんは「再稼働容認は許せない！国の医療政策で、医療も介護も現場は大変。医療専門家の遠藤さんに期待します」  
コメ農家の佐藤和夫さんと高校教師の吉田大さんからも熱いメッセージを頂く。  
遠藤れい子は「花角知事の原発再稼働容認の発言は許せない！長岡の基幹3病院との懇談の実態を報告、いのちを守るために頑張る」と決意を表明しました。

### いのちを守る 平和を守る “みんなのつどいスタートフェス”



マツケンサンバでオープニング



遠藤れい子は吉良よし子議員、清水陽子代表と共に

角知事の原発再稼働容認は許せない。高市政権の軍事優先経済対策は医療問題を深刻化し、現役世代の暮らしも破壊する。トランプいいなりの高市政権は危険だが脆さも弱さも抱えている。皆さん遠藤さんと共に頑張りますように。」と参加者を激励しました。